

令和 6年度予算見積調書

課室名：健康長寿課
 担当名：母子保健担当
 内線：3662

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S168	妊婦緊急一時受入れ事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	母子保健推進費		
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	母子保健法		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	3	
					分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	3-7	
1 事業概要 安心して生活できる場のない妊婦を対象に、緊急一時的に、安心して生活できる居所（指定の産科医療機関、助産院等）を提供するとともに、その後の出産・育児の切れ目のない支援につなぐ。			5 事業説明 (1) 事業内容 安心して生活できる場のない妊婦を対象に、緊急一時的な居所(指定の産科医療機関、助産院等)を提供する。						
①緊急一時的な居所等提供業務 3,960千円 ②コーディネーター委託業務 2,200千円 ③事業の普及啓発業務 879千円			(2) 事業計画 ①指定の産科医療機関、助産院等 緊急一時的な居所や食事提供、妊婦管理、保健指導、関係機関との連携業務等 ②コーディネーター委託業務 ・指定産科医療機関、助産院等の調整・選定。 ・市町村への相談支援(スーパーバイズ) ③事業周知のためのチラシやポスターを作成し、県内インターネットカフェ等に掲示し、支援の必要な妊婦を相談につなげる。						
2 事業主体及び負担区分 国1/2・県1/2			(3) 事業効果及び目標 ア 安心・安全な環境での妊娠期の生活の確保ができる。 (目標：居所のない妊婦24人が事業を利用する) イ 一時的居所を退所後も市町村の支援を継続的に受けることができる。 【事業実績(アウトプット)】インターネットカフェや友人宅で生活している等で居所がない状態の妊婦24人が、指定医療機関、助産院を利用。 【事業効果(アウトカム)】妊婦の見守りができる。妊婦健診未受診の早期把握が可能となり、受診勧奨及びその後の支援が円滑に行える。不適切な出産・育児の回避につながり、児童虐待死亡事例0(ゼロ)となる。						
3 地方財政措置の状況 (区分) 衛生費 (細目) 母子保健費 (細節) 母子保健費			(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 市町村や母子保健関係団体と連携を図り進めている。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×1.0人=9,500円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	7,039	3,519					3,520	7,039	
前年額	0						0		

事業内訳書

事業名	妊婦緊急一時受入れ事業		
単位事業名	妊婦緊急一時受入れ事業	予算額	7,039千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	3,519	3,519	母子保健衛生費補助金 補助率1/2
一般財源	3,520	3,520	
合計	7,039	7,039	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	703	703	普及啓発用ポスター・カード印刷費 703千円
役務費	176	176	普及啓発用ポスター・カード郵送費 176千円
委託料	6,160	6,160	指定産科医療機関等への委託費 3,960千円 居所調整・選定業務委託費 2,200千円
合計	7,039	7,039	